

2019年度（平成31年度）事業計画

基本方針：くまもと障害者労働センターの目指すもの

- （1）障害のあるなしだけでなく様々な困難を抱える人も含め、誰もが共に働くことができる場として社会的事業所の可能性を拓いていきます。
- （2）収益性のある事業を通し、労働権の確保や一定の所得保障を進めていきます。
- （3）働くことを通し差別がなくなっていく共生社会をめざしていきます。

運営の目標

2019年度の目標として、私たちが取り組みたいことを列挙すると下記のようになります。

（1）労働センターの理念とみんなの思いを形にした新たな建物の建設

B型・生活介護の定員増、新事業の展開など含め2020年度に事業をスタートするという目標に向けて、みんなの力を一つにして全力で進めていきます。

2019年3月末に、公益財団法人JKAの助成の結果発表となっています。助成結果により、建物の規模等大きく変わることが予想されますが、2020年度に事業がスタートできるよう、法人役員、職員、メンバー、外部の支援者も含めセンターの基本方針に沿った建物の建設と事業展開を進めていきます。

（2）各事業の連携による弁当事業の拡大

熊本地震後、おれんじカフェが喫茶事業から弁当事業へと大きく転換することとなり、試行錯誤をしながら事業を進めてきました。2018年度は、おれんじカフェで働くスタッフの技術と意欲の向上、新しいスタッフの加入によりメニューの充実など、弁当事業の礎を築く1年となりました。2019年度は、各事業との連携を深め、弁当事業の拡大を就労支援事業の中心と位置づけ、全体で取り組んでいきます。

●就労支援事業の事業計画

(1) 菓子製造・販売（売上目標：1,150万円 2018年度売上見込：1,030万円）

- ・ギフト（売上目標 150万円 2018年度売上見込 100万円）
卸販売（売上目標 200万円 2018年度売上見込 210万円）
ギフト商品の充実、新商品の開発
手書き手作りなど、ひと手間をかけた包装により、商品の付加価値を高める
- ・訪問販売（売上目標：600万円 2018年度見込：530万円）
販売先の拡大（市内、近郊の市町村中心から県内へと拡大）
自社製品だけでなく、仕入れ商品の充実
- ・交流・イベント販売（売上目標：200万円 2018年度見込 190万円）
コーヒーの無料試飲など、イベント販売での販売方法の検討
イベントに合わせたセット商品の展開
講演ができる人材の育成と講演活動の広告宣伝の実施

(2) カフェ部（売上目標：700万円 2018年度見込：460万円）

- ・まいペース
近隣への営業による集客UP（営業だけでなく、はあもにいととの合同企画も含む）
幅広い年代のお客様へ提供できるメニューの開発（うどん、お子様ランチなど）
外部講師による接客マナー研修の企画
弁当券、コーヒー券などのサービスの導入による顧客増と定着
- ・おれんじカフェ
1日10,000円の売上UP（1日25食、弁当の注文を増やす）
各部署と連携し配達ルートを決め、ルート近郊の営業
店頭での惣菜の販売（かき氷機や綿菓子機、コーヒーの活用によるイベント開催）
会議用弁当の受注（チラシ作成と営業）
内部研修の企画
勤務時間、働き方の検討（前日仕込み、メニュー・盛り付けの定番化なども含む）

(3) 事務・IT部（売上目標：650万円　2018年度見込：700万円）

近隣の事業所へ自ら足を運ぶ営業

定期的な学習会（年4回、外部講師とメンバーが講師）や話し合いの場の確保

人員体制と仕事内容の整理

商品のチラシの作成や包材のデザインなどを通して、各事業の売上UPへの貢献

(4) その他

・設備整備

弁当配達用兼送迎車両として、軽自動車の整備（補助金や助成金を検討）

・研修

新商品の開発に向けた研修会議の企画

・地域への貢献

季節でのイベント秋祭り、もちつき以外で、日常的に地域に取組みができる企画を検討していく。

（案）おれんじカフェを開放し、会食などの実施など

●福祉サービス事業計画

(1) 生活介護、就労継続支援B型

障害の重度化、病気の状態悪化、家庭環境の変化などにより、長期休みなどにより出勤日数の減少が目立ってきています。メンバーの安定的な就労が継続できるような環境の整備を図っていきます。また一方で、働く日数を増やしたいと希望するメンバーがいるが、仕事量と作業スペースなどの問題から、希望に応えられていない状況があります。

- ・医療機関、相談支援事業所をはじめ関係する機関と連携を図り、生活面での安定を図る
- ・仕事の確保と環境整備により、希望にあわせた就労日数の実現

(2) おれんじ村Inc.【相談支援事業】

相談支援事業を通して障害者の置かれている状況や地域の課題を把握し、障害があっても自ら望むライフステージが実現できるように、制度の活用だけでなくインフォーマルなサービスの利用や新たなサービスの開発など取り組んでいきます。

現在、障害者45名、障害児35名の計80名の相談を受けています。相談件数としては、2017年度から横ばい状態となっています。来年度は、新規での受付を増やしていきたいと考えています。

(3) その他

2018年9月メンバー内での結婚、出産がありました。現在、支援体制などの問題も含め、親子別々の生活を余儀なくされています。今後、本人たちは親子3人での生活を希望しており、子どもの1歳の誕生日を目安に自宅に戻れるような体制を整えていきたいと考えています。センターとしても、親子3人での暮らしを応援できる体制を検討していきたいと考えています。

●公益事業事業計画

(1) 共生ホーム元気

現在、当事業所のメンバー2名がお互いに協力しながら、共生ホーム元気で生活を過ごしています。障害の重度化、病気の重症化などにより、生活面へのサポートが徐々に必要となってきました。施設ではなく、地域での生活を続けていくための、内部だけでなく外部サービスとの連携も含めたサポート体制を構築していきます。

- ・食事体制、健康管理（健康相談、服薬の管理など）、住環境（掃除など）などサポート体制の検討

●人員体制

(1) 生活介護、就労継続支援B型

施設長兼サービス管理責任者	常勤 1 名	兼務
事務長	常勤 1 名	兼務
生活支援員	常勤 7 名	兼務 2 名 * 育休 2 名 (8 月、12 月復職予定)
	非常勤 3 名	兼務 1 名
職業指導員	非常勤 1 名	
目標工賃達成指導員	非常勤 4 名	
事務員	非常勤 2 名	兼務 1 名
調理員	常勤 2 名	兼務 2 名

(2) 相談支援事業

管理者	常勤 1 名	兼務
相談支援専門員	常勤 2 名	兼務 1 名

●2019 年度計画

4 月	・ 花見	10 月	・ ハロウィンギフト
5 月		11 月	・ 冬ギフト
6 月	・ 理事会 (決算、役員改選) ・ 評議員会 (定時評議員会、役員改選) ・ 理事会 (理事長選任)	12 月	・ もちつき ・ 忘年会
7 月	・ 夏ギフト ・ 津久井やまゆり園追悼集会	1 月	・ 書初め ・ 虐待防止研修
8 月		2 月	・ バレンタインギフト
9 月	・ 避難訓練 ・ 健康診断 ・ 秋祭り	3 月	・ ホワイトデイギフト ・ 避難訓練 ・ 健康診断 ・ 理事会 (事業計画、決算) ・ 評議員会 (事業計画、決算)

* 随時、新築と事業拡大、新規事業の展開について検討委員会の開催。